

第二地銀協地銀の平成 13 年度決算の概要

平成 14 年 6 月 14 日
社団法人 第二地方銀行協会

当協会では、会員行の平成 13 年度決算を別添のとおり取りまとめました。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

企画部：鈴木、波多野、榎本

TEL.03-3262-2183

会員行の平成 13 年度決算の概要

(社) 第二地方銀行協会
平成 14 年 6 月 14 日

会員行の平成 13 年度決算の概要は次のとおりである。

1. 単体決算

(注)本文および別表記載の単体決算計数は、営業期間が1年に満たない東京スター銀行、ならびに金融整理管財人下にある石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

1. 損益の状況(資料1参照)

(1) 業務純益(3,749億円、前期比+261億円、+7.5%)

【増益25行、減益28行/黒字51行、赤字2行】

業務純益は、一般貸倒引当金繰入額が大幅に増加(前期比+192億円)したものの、国債等債券関係損益の増加(同+135億円)や、一層の経費削減(同148億円)に努めたことから、2年ぶりの増益となった。

因みに、基本的な収益力指標であるコア業務純益(注)は、前期比+319億円、+8.8%増加して、3,940億円となった。

(注)コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益

(2) 経常利益(2,077億円、前期比1,723億円)

【増益16行、減益37行/黒字31行、赤字22行】

経常利益は、業務純益が増加に転じたものの、景気低迷による取引先企業の業況悪化に伴う不良債権処理の影響や、その他有価証券の減損処理の影響により、会員行の6割弱の31行が黒字であったものの、22行が赤字となったため、会員行全体では2年連続の赤字となった。

(3) 当期利益 (1,859 億円、前期比 1,023 億円)

【増益 18 行、減益 35 行 / 黒字 32 行、赤字 21 行】

当期利益は、32 行が黒字を維持したものの、21 行が赤字となり、会員行全体でも 7 年連続の赤字となった。

2 . 経営諸指標 (資料 2 参照)

(1) 預貸金利鞘は、預金利回の低下および経費の減少により、前期比 + 0.10%ポイント拡大し 0.90%と、1 年決算に移行(昭和 56 年度)以来最高の水準となった。

また、総資金利鞘は、同 + 0.05%ポイント拡大し 0.52%となった。

(2) 預貸率(未残ベース)は、同 0.83%ポイント低下し 78.65%、預証率(未残ベース)は、同 + 0.72%ポイント上昇し 19.27%となった。

(3) コア業純 R O A は、同 + 0.04%ポイント上昇し 0.65%となった。

(4) コア業純 R O E は、同 + 1.07%ポイント上昇し 14.10%となった。

(5) コア業務粗利益 O H R は、同 2.17%ポイント低下し 68.16%となった。

(注) 1 . コア業純 R O A = (業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益)
/ 総資産平残 × 100

2 . コア業純 R O E = (業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益)
/ 資本計平残 × 100

3 . コア業純粗利益 O H R = 経費 / (業務粗利益 - 国債等債券関係損益) × 100

3 . 不良債権の処理状況 (資料 3 参照)

(1) 不良債権処理額

不良債権処理額 (貸倒引当金繰入額 (注 1)、貸出金償却、特定債務者支援引当金繰入額等) は、取引先の業況悪化や高水準の企業倒産状況等を反映して、貸倒引当金繰入額 (前期比 + 700 億円) や貸出金償却 (前期比 + 84 億円) 等が増加したことなどにより、前期比 + 512 億円、+ 11.0%増加して 5,178 億円となり、コア業務純益を上回る (コア業務純益の 131.4%) 処理が行われた。

因みに、貸出業務にかかる実現信用コストである与信費用比率 (注 2) は、同

+0.12%ポイント上昇して、1.20%となった。

(注) 1. 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額 + 特定海外債権引当勘定繰入額

2. 与信費用比率 = 不良債権処理額 / 貸出金(平残) × 100

(2) リスク管理債権 (資料4参照)

リスク管理債権は、3か月以上延滞債権(同 93億円)が減少したものの、延滞債権(同+1,734億円)や貸出条件緩和債権(同+1,747億円)が増加したことから、同+3,583億円、+10.3%増加して、3兆8,510億円となった。

また、不良債権比率(注)は、同+0.93%ポイント上昇して8.91%となった。

(注) 不良債権比率 = リスク管理債権 / 貸出金(末残) × 100

(3) 金融再生法開示債権 (資料5参照)

金融再生法開示債権は、要管理債権が著増(同+2,430億円)したことにより、同+3,742億円、+10.4%増加して、3兆9,760億円となり、開示債権比率は、同+0.98%ポイント上昇して8.97%となった。

4. 単体自己資本比率 (資料6参照)

単体自己資本比率(国内基準)は、前期末比 0.12%ポイント低下して8.09%となったが、平成13年度中間期末に比べると、+0.14%ポイント上昇した。

なお、Tier 比率は、前期末比 0.28%ポイント低下して6.27%となった。

5. 主要勘定 (資料7参照)

預金は4年連続の増加となった一方、貸出金は2年ぶりの減少となった。

(1) 預金 (54兆6,870億円、前期末比+92億円、+0.0%)

法人預金は、要求払預金が増加したものの、定期性預金が大幅に減少したため、同 7,591億円、5.8%減少した。

個人預金は、法人預金ほど定期性預金が増加せず、要求払預金が増加したため、同+9,844億円、+2.5%増加した。

(2) 貸出金(末残) (43兆2,021億円、前期末比 5,339億円、 1.2%)

業種別にみると、個人(同+5,316億円)や地方公共団体(同+971億円)が増加したものの、製造業(同 2,406億円)、建設業(同 3,454億円)、卸売(同 1,405億円)、小売業(同 2,548億円)、サービス業(同 1,097億円)が減少した。

消費者ローン残高は、住宅ローンが増加(同+7,001億円)したことから、同+6,704億円、+6.4%増加した。

連結決算(速報値)

(注)本文および別表記載の連結決算計数は、連結決算を行っていない静岡中央銀行、関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行、および営業期間が1年に満たない東京スター銀行、ならびに金融整理管財人下にある石川銀行、中部銀行を除く49行ベースである。ただし、連結自己資本比率については、静岡中央銀行を含む50行ベースである。

1. 損益の状況(資料8参照)

(1) 経常利益

経常利益は、前期比 1,861億円減少して、会員行全体では 2,105億円の赤字(黒字28行、赤字21行)となった。

(2) 当期純利益

当期純利益も、同 1,107億円減少して、会員行全体では 1,915億円の赤字(黒字29行、赤字20行)となった。

2. 連結自己資本比率(資料9参照)

連結自己資本比率(国内基準)は、前期末比 0.12%ポイント低下して8.04%となったが、平成13年度中間期末に比べると、+0.13%ポイント上昇した。

また、連結Tier 比率は、同 0.30%ポイント低下して6.21%となった。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】 企画部：鈴木、波多野、榎本 TEL.03-3262-2183
--

1. 【単体】損益の内訳

(単位：百万円、%)

	平成13年度		平成12年度		前年同期比		前年同期比	
	金額	増減額	金額	増減額	増減額	増減率	増減額	増減率
業務純益	374,962	26,151	348,811	1,144		7.5		0.3
	362,134							
業務粗利益	1,273,657	30,628	1,243,029	13,573		2.5		1.1
	1,324,152							
資金利益	1,167,984	6,732	1,161,252	29,626		0.6		2.5
	1,221,549							
役務取引等利益	61,321	3,577	57,744	3,373		6.2		6.2
	61,811							
特定取引利益	32	76	44	21		-		-
	32							
その他業務利益	44,277	20,240	24,037	39,831		84.2		-
	40,717							
国債等債券関係損益	35,754	13,523	22,231	41,348		60.8		-
	32,173							
経費	843,861	14,812	858,673	5,703		1.7		0.7
	877,168							
一般貸倒引当金繰入額	54,801	19,291	35,510	20,411		54.3		135.2
	84,817							
臨時損益	582,369	198,379	383,990	92,212		-		-
	702,221							
個別貸倒引当金繰入額	352,413	40,683	311,730	23,357		13.1		8.1
	467,129							
株式等関係損益	148,104	134,024	14,080	58,704		-		-
	151,533							
経常利益	207,775	172,317	35,458	93,248		-		-
	340,476							

(単位：百万円、%)

	平成13年度			平成12年度		
	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	
特別損益	21,112 27,072	18,219	-	39,331	23,201	-
税引前当期利益	228,594 367,257	153,804	-	74,790	116,454	-
法人税、住民税及び事業税	60,957 67,415	6,970	10.3	67,927	16,887	19.9
法人税等調整額	103,721 92,715	44,615	-	59,106	7,856	-
当期利益	185,989 342,117	102,369	-	83,620	107,421	-

(注) 1. 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

2. 下段計数は、会員全行(56行)ベースである。

2. 【単体】経営諸指標

(単位：%)

	平成13年度	前年同期比 増減	平成12年度	前年同期比 増減
貸出金利回 (A)	2.63	0.11	2.74	0.04
有価証券利回	1.33	0.37	1.70	0.58
資金運用利回 (B)	2.28	0.19	2.47	0.15
預金債券等原価 (C)	1.73	0.21	1.94	0.09
預金債券等利回	0.18	0.13	0.31	0.07
預金利回	0.18	0.13	0.31	0.07
譲渡性預金利回	0.07	0.15	0.22	0.05
経費率	1.54	0.08	1.62	0.03
人件費率	0.82	0.05	0.87	0.02
物件費率	0.64	0.02	0.66	0.01
税金率	0.07	0.00	0.07	0.01
資金調達利回	0.23	0.16	0.39	0.07
資金調達原価 (D)	1.76	0.24	2.00	0.09
預貸金利鞘 (A-C)	0.90	0.10	0.80	0.05
総資金利鞘 (B-D)	0.52	0.05	0.47	0.06
預貸率(未残)	78.65	0.83	79.48	0.83
" (平残)	78.63	1.20	79.83	1.44
預証率(未残)	19.27	0.72	18.55	0.20
" (平残)	20.52	1.59	18.93	0.94
コア業純ROA	0.65	0.04	0.61	0.05
コア業純ROE	14.10	1.07	13.03	2.06
コア業務粗利益OHR	68.16	2.17	70.33	1.11

(注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益) / 総資産平残 × 100

2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益) / 資本計平残 × 100

3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益 - 国債等債券関係損益) × 100

4. 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

3. 【単体】不良債権処理額

(単位：百万円、%)

	平成14年3月末			平成13年3月末
		増減額	増減率	
貸倒引当金繰入額	417,921	70,010	20.1	347,911
貸出金償却	56,876	8,425	17.4	48,451
CCPC 売却損等	4,561	2,439	114.9	2,122
RCC 売却損	5,186	26,834	83.8	32,020
債権売却損失 引当金繰入額	9,691	1,554	13.8	11,245
取引先支援損 (債権放棄等)	2,599	895	25.6	3,494
特定債務者支援 引当金繰入額	9,174	6,985	319.1	2,189
その他 不良債権処理額	11,732	7,327	38.4	19,059
合計 A	517,805	51,265	11.0	466,540

コア業務純益 B	394,009	31,919	8.8	362,090
(参考) A/B	131.4	2.6		128.8

与信費用比率 X	1.20	0.12		1.08
預貸金利鞘 Y	0.90	0.10		0.80
(参考) Y-X	0.30	0.02		0.28

(注) 1. 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額 + 特定海外債権引当勘定繰入額

2. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

3. 与信費用比率 = 不良債権処理額 / 貸出金(平残) × 100

4. 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

4. 【単体】リスク管理債権

(単位：百万円、%)

	平成14年3月末	分類 の部分 直接償却	対前年同月末比		平成13年3月末	分類 の部分 直接償却	対前年同月末比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
			破綻先債権	472,213			323,068	19,415
延滞債権	2,131,074	345,263	173,466	8.9	1,957,608	271,290	511,391	35.4
3か月以上延滞債権	29,422	0	9,310	24.0	38,732	-	38,302	49.7
貸出条件緩和債権	1,218,328	85	174,787	16.7	1,043,541	741	187,061	21.8
合計 A	3,851,097	668,427	358,356	10.3	3,492,741	510,858	660,338	23.3

貸出金 B	43,202,178	/	533,976	1.2	43,736,154	/	1,069,929	2.5
不良債権比率 A/B	8.91		0.93	7.98	1.35			
貸倒引当金 C	1,189,484		10,352	0.9	1,199,836		107,083	9.8
特定債務者 支援引当金 D	15,826		8,595	118.9	7,231		16,496	69.5
貸倒引当率 (C+D)/A	31.29		3.26	34.55	4.86			

(注) 1. 不良債権比率 = リスク管理債権 / 貸出金 (未残) × 100

2. 貸倒引当率 = (貸倒引当金 + 特定債務者支援引当金) / リスク管理債権 × 100

3. 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

5.【単体】金融再生法開示債権

(単位：億円、%)

	平成14年3月末		対前年同月末比		平成13年3月末		対前年同月末比	
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減率
破産更生等債権	11,031	329	3.1	10,702	184	1.7		
危険債権	16,780	988	6.3	15,792	1,512	10.6		
要管理債権	11,917	2,430	25.6	9,487	3,770	65.9		
開示債権 A	39,760	3,742	10.4	36,018	5,135	16.6		
正常債権	403,369	10,900	2.6	414,269	4,870	1.2		
合計 B	443,143	7,159	1.6	450,302	283	0.1		
金融再生法 開示債権比率 A/B	8.97	0.98		7.99	1.13			

(注) 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

6.【単体】自己資本比率の内訳

(単位：百万円、%)

		平成13年度		平成12年度	
		増減額	増減率		
Tier (A)		2,192,513 2,102,315	146,646	6.3	2,339,159
Tier (B)		647,207 650,250	50,684	8.5	596,523
	うち負債性資本調達手段	392,658 392,658	134,894	52.3	257,764
Tier +Tier (C)	(A) + (B)	2,839,747 2,752,592	95,995	3.3	2,935,742
控除項目 (D)		7,965 8,015	4,031	102.5	3,934
自己資本額 (E)	(C) - (D)	2,831,765 2,744,559	100,030	3.4	2,931,795
リスク・アセット (F)		34,962,224 35,999,761	740,397	2.1	35,702,621
自己資本比率	$\frac{(E)}{(F)}$	8.09 7.62	0.12		8.21
Tier 比率	$\frac{(A)}{(F)}$	6.27 5.83	0.28		6.55

(注) 1. 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

2. 下段計数は、会員全行(56行)ベースである。

7. 【単体】主要勘定（未残）の内訳（1 / 2）

（単位：百万円、％）

	平成13年度			平成12年度		
		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
貸出金	43,202,178 44,443,233	533,976	1.2	43,736,154	1,069,929	2.5
有価証券	10,585,063 10,992,521	373,896	3.7	10,211,167	459,086	4.7
国債	4,563,934 4,779,710	657,239	16.8	3,906,695	320,349	8.9
地方債	818,419 859,551	97,896	13.6	720,523	5,893	0.8
社債	3,071,950 3,164,847	172,935	5.3	3,244,885	104,730	3.3
株式	954,394 962,502	195,250	17.0	1,149,644	4,999	0.4
商品有価証券	48,824 48,944	49,062	50.1	97,886	74,191	313.1
金銭の信託	35,769 35,769	30,979	46.4	66,748	10,934	14.1
コールローン	696,936 696,936	1,327,784	65.6	2,024,720	703,553	53.3
運用勘定計	54,939,609 56,595,701	2,021,647	3.5	56,961,256	2,375,357	4.4
特定取引資産	23 23	235	91.1	258	54	17.3
繰延税金資産	688,668 690,171	154,869	29.0	533,799	5,289	1.0
貸倒引当金	1,189,484 1,349,287	10,352	0.9	1,199,836	107,083	9.8
投資損失引当金	416 416	278	40.1	694	1,883	73.1
資産計	60,144,501 61,912,922	103,618	0.2	60,248,119	1,818,507	3.1

(注) 1. 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

2. 下段計数は、会員全行（56行）ベースである。

7. 【単体】主要勘定（未残）の内訳（2 / 2）

（単位：百万円、％）

	平成13年度		平成12年度	
	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
預金	54,687,003 55,989,552	9,240 0.0	54,677,763	1,880,941 3.6
譲渡性預金	232,936 257,936	113,421 32.7	346,357	23,881 7.4
調達勘定計	55,893,171 57,574,081	323,400 0.6	55,569,771	1,733,167 3.2
特定取引負債	0 0	55 -	55	28 103.7
賞与引当金	21,047 21,827	- -	-	- -
退職給付引当金	181,779 187,034	16,804 10.2	164,975	42,597 34.8
負債計	57,709,684 59,560,075	107,594 0.2	57,602,090	1,680,947 3.0
資本金	827,923 881,854	52,279 6.7	775,644	83,673 12.1
法定準備金	735,722 775,488	8,273 1.1	727,449	80,780 12.5
再評価差額金	178,678 182,842	7,813 4.2	186,491	3,377 1.8
剰余金	697,159 518,028	160,598 18.7	857,757	96,965 10.2
評価差額金	2,461 3,162	3,210 -	749	- -
自己株式	2,356 2,356	- -	-	- -
資本計	2,434,789 2,352,821	342,687 12.3	2,777,476	269,029 10.7
負債及び資本計	60,144,501 61,912,922	1,044,537 1.8	59,099,964	670,352 1.1

(注) 1. 東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く53行ベースである。

2. 下段計数は、会員全行（56行）ベースである。

8. 【連結】損益の内訳

(単位：百万円、%)

	平成13年度	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	平成12年度
経常収益	1,717,958	74,350	4.1	1,792,308
資金運用収益	1,275,246	88,164	6.5	1,363,410
役務取引等収益	168,691	9,833	6.2	158,858
特定取引等収益	32	15	88.2	17
その他業務収益	163,417	21,192	14.9	142,225
その他経常収益	110,492	17,228	13.5	127,720
経常費用	1,928,531	111,796	6.2	1,816,735
資金調達費用	133,650	83,477	38.4	217,127
役務取引等費用	80,136	4,040	5.3	76,096
特定取引等費用	0	-	-	61
その他業務費用	108,957	1,258	1.2	107,699
営業経費	856,952	22,142	2.5	879,094
その他経常費用	748,725	212,169	39.5	536,556
経常利益	210,569	186,132	-	24,437
特別利益	22,889	63,249	73.4	86,138
特別損失	44,979	80,399	64.1	125,378
税金等調整前当期純利益	232,668	168,990	-	63,678
法人税、住民税及び事業税	59,024	13,397	18.5	72,421
法人税等調整額	101,249	42,771	-	58,478
少数株主利益	1,041	2,077	66.6	3,118
当期純利益	191,504	110,742	-	80,762

(注) 静岡中央銀行、関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行、東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く
49行ベースである。

9.【連結】自己資本比率の内訳

(単位：百万円、%)

	平成13年度			平成12年度
		増減額	増減率	
Tier (A)	2,159,321	145,996	6.3	2,305,317
Tier (B)	636,554	49,898	8.5	586,656
うち負債性資本調達手段	390,728	139,964	55.8	250,764
Tier +Tier (C) (A) + (B)	2,795,903	96,095	3.3	2,891,998
控除項目 (D)	3,864	372	8.8	4,236
自己資本額 (E) (C) - (D)	2,792,021	95,727	3.3	2,887,748
リスク・アセット (F)	34,722,513	662,234	1.9	35,384,747
自己資本比率 $\frac{(E)}{(F)}$	8.04	0.12		8.16
Tier 比率 $\frac{(A)}{(F)}$	6.21	0.30		6.51

(注) 関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行、東京スター銀行、石川銀行、中部銀行を除く50行ベースである。